

- 1 派遣期日 平成28年11月7日（月）
 2 研修先 学校名 千葉県八千代市立萱田小学校
 所在地 千葉県八千代市ゆりのき台6-20
<http://www.yachiyo.ed.jp/ekayada/>

3 研修内容

（1）テーマ 目的をもって読み、進んで表現できる児童の育成

- ・国語科における「読むこと」を軸とした様々な言語活動の指導の研究。
- ・国語科における、グッドモデルの提示やノートの作り方の指導方法の研究。
- ・国語の授業における、ゴールへの見通し、振り返りの充実の研究。

（2）研修にあたって

これからの社会では、出産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等に伴う厳しい挑戦の時代を乗り越え、伝統や文化に立脚し、高い志や意欲をもつ自立した人間として、他社と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り開いていく力が必要とされている。

八千代市立萱田小学校では、研究主題を「21世紀型能力を育てる授業の工夫」～アクティブ・ラーニングを意識して～とし、研究・実践を進めている。その中の〈国語部会〉での取り組みについて研修した。

（3）実践事例

① 主体的言語活動，言語生活を成立させる力

課題を探究する言語活動で児童の言葉が主体的に活用することで、知識・技能の習得はより確かなものとなる。

- ・話す・聞くこと ①スピーチ力 ②ディスカッション力
- ・書くこと ①生活作文力 ②情報作文力
- ・読むこと（文学） ①読解力 ②読書力
- ・読むこと（説明文） ①論理力 ②情報活用量

読むこと（文学）の構成表

読む＝文学教材の領域	読解系列	読書系列
＊事象認識・関係認識（イメージと意味生成）・批評反応 ＊他者と語り（読みの原理） ＊読書を愉しむ ＊多様な読書	・作品研究 ・読書日記 ・作品論 ・劇化 ・人形劇 ・紙芝居 ・語り ・台本脚本	・読書会 ・読み聞かせ ・ブックトーク ・アニメーション（長編） ・比べ読み ・テーマ読書

② グッドモデルの提示

教師による見本などを，具体例と相手提示し，単元の見通しをもたせる。

- ・単元の導入の場面で，教師の作った見本を見せたり，演じて見せたりして，ゴールとなる言語活動のイメージを明確にもたせるようにする。
- ・単元の学習計画を示し，自分がいま取り組んでいる学習活動がこれから何につながっていくのか，次には，どんな活動をするのかが分かるようにする。

③ 教師の目標（ねらい）と児童の目的（めあて）の明確化

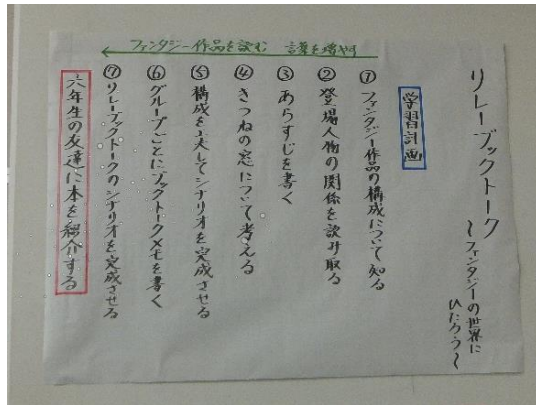
教師は児童に習得させる知識・技能を洗い出し，それらを言語活動を通して指導することを目標とする。教師が最適な言語活動を選定し，児童にはその活動の目的を提示し，その課題解決の過程で必要な言葉の力を自覚させる。

④ 振り返り

児童自身がその時間に「学べたこと」「次に生かせること」を振り返ることで、学習したことを次に活用しようという意識を高められる。また、それにより学習の積み重ねを意識できるようにする。

⑤ 教室環境

掲示物（学習計画表、教科書本文、国語のたからもの、言葉の森、感想の言葉、読んでみたくなる言葉の工夫、先生によるグッドモデルなど）の他、関連図書コーナーなど、児童がいつでも必要な情報を得られるような環境の工夫がされている。



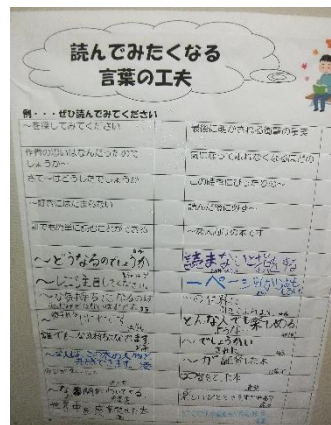
〈学習計画〉



〈関連図書コーナー〉



〈言葉の森〉



〈読んでみたくなる言葉の工夫〉



〈国語のたからもの〉

4 感想

学年の実態に応じた言語活動（3年「斉藤隆介作品の魅力的な登場人物を人物紹介カードで紹介しよう」—『モチモチの木』— 5年「本のショーウィンドウを作ろう」—『大造じいさんとがん』— 6年「リレーブックトーク ～ファンタジー世界にひたろう～」—『きつねの窓』—）が設定されており、児童の「目的をもって読み、進んで表現しよう」という意識の高さがみられた。振り返りに関しては、言葉かけを限定「自分についての力の確認」「友達の意見に納得したかどうか」「今日の気づき（変容）」などとして、つけたい力と振り返りが統一されていた。また、学習計画と振り返りを一緒に掲示することで、つけたい力の定着を確認することができていた。教室掲示も工夫されており、国語に関する言葉に囲まれて学習していた。授業中に、それらを確認することができる環境は素晴らしいと感じた。さらに、授業時の机の配置等も工夫されており、すぐに相談でき、話し合える環境を整えることも大切だと感じた。これからの児童に付けていきたい力について実感できる研修だった。国語科の「読むこと」の学習を進める際に、参考にしていきたい。